

大分市立植田小学校 学力向上プラン1（8月）

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生では、「話す・聞く」が若干弱い。中でも「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる」が弱い。「言語」について、漢字を文の中で正しく使えていない。「図形」では、図形の性質や構成要素の理解が若干弱い。計算の仕方などを説明する力が弱い。 ・5年生では、国語では、「書くこと」の作文については、2段構成で文章を書くこと。書くこととすることの中心を明確にして文章を書くこと。自分の考えが明確になるように具体的に文章を書くことが弱い。算数では、割り算の文章問題、数量関係やグラフを読み取り理由や説明を書く記述式の問題に課題がある。 ・単元末テストではどの学年も順調に力をつけていることがうかがえる。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <p>ペアトークやグループ討議で、教師の「児童が自分の思いや考えを伝えあう場の設定」の肯定率の割には児童の肯定率が高い。よって、より場の設定を増やすことで、「主体的な学び」「子ども同士の学び合い」が深まり、学習へ向かう意欲も深まるのではないだろうか。</p>	<p>1 各種学力調査の分析結果から明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に対する意欲に差がある。 ・家庭学習の習慣化にはまだまだ課題がある。 ・昨年度2学期より若干増えているが、26%の児童がまだまだ質問を進んでできてはいない。 <p>2 授業改善の検証指標に照らし合わせて評価した状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で練習問題を行い、分かっていない子どもの個別指導をすることで、減らしていくことが重要である。家庭学習の中でも、保護者の協力を得ながらわかる喜びを味あわせるよう努めていく。 ・児童が質問できる雰囲気教師がさらに作る必要がある。教師の方からの声掛けも重要。
指導の状況	<p>1 組織的な授業改善の取組状況</p> <p>授業が分かったと感じる児童は90%以上は達成できているが、そう感じていない児童も7%いる。このことから授業の中で練習問題を行い、わかっていない子どもの個別指導をすることで、減らしていくことが重要である。家庭学習の中でも、保護者の協力を得ながらわかる喜びを味あわせるよう努めていく。</p> <p>2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況</p> <p>教師の1時間完結型の授業と授業の工夫の肯定率に差がある。1時間完結型の授業を行っている教師は100%だが、授業の工夫を進んで行っている教師は77%である。1時間完結型の授業の中で、児童の理解を深めるような工夫の必要がある。また、視覚優位の児童に対しては特に有効である。また、なかなか1時間全部を自習にするのは難しいので、工夫をしながら互見授業もさらに取り入れ授業改善をしていかなければならない。保護者はぜひぶん肯定的にとらえてくれるが、昨年度2学期より肯定率が若干下がっている。</p>	

学力に関する達成指標	<p>【達成指標】単元末テスト平均85点以上(4・5・6年は学力調査国・県・市の平均値を上回る)</p> <p>【検証指標①】 技能科目以外でペアトークやグループ活動を授業の中に位置づけた割合を70%以上にする。</p> <p>【検証指標②】 授業の終わりに「振り返り」の場を設定し、次に生かした割合を80%以上にする。</p>
-------------------	--

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の具体的な取組	<p>(授業改善テーマ) 「伝え合う力をはぐくむ学習指導の工夫」 ～考えをつなぎ、ともに学ぶ子どもの姿を求めて～</p> <p>(授業改善の重点)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ペアトークやグループ活動を取り入れた交流の場の工夫 ② 授業の終わりに「振り返り」のある授業の推進 	<p>(達成指標) ※必要があれば</p>
	<p>(取組内容)</p> <p>一人ひとりの考えが生かされるために、どんな活動をどの場面で取り入れればよいか、効果的な交流の場の工夫を考える。</p>	<p>(家庭・地域の取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習時間の確保、学年×10分以上、個別ごとに実態に応じた家庭学習内容の充実 ○基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の確立 ○「共有」のための情報発信(学校便り・学年通信等) ○地域教材・人材の活用、地域に出かける活動
	<p>(取組指標)</p> <p>ペアトークやグループ活動を授業の中に一度は位置づける。</p>	<p>(家庭・地域の取組指標)</p> <p>毎日、家庭学習のチェックを行う。または家庭学習をしたか声かけを行う。</p>
	<p>【その他の学力向上の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態に合った授業形態を仕組み、個別の指導が必要な子どもに補充する。 ・植田小スタンダードの徹底 ・ICT機器を活用した授業実践 	